

こんかいのゾーン

SCHEDULE

日付	予定
9/30 日	
10/1 月	
10/2 火	
10/3 水	定例ミーティング
10/4 木	
10/5 金	
10/6 土	
10/7 日	

こんかいのまちグルメ



蜂の家のシュークリーム

長崎県佐世保市・蜂の家

昭和23年に創業した長崎県佐世保市の老舗レストラン「蜂の家」のシュークリーム。大きなシューの中にたっぷり入ったラム酒が香るカスタードクリーム、バナナや焼きリンゴなどの果物、お好みでかけるひょうたん型のスカッチソースが特徴的。終戦後、バターや小麦粉などの当時入手困難だった材料を使うことができたのは、佐世保市に米軍基地が位置していたことも関係しているという。事前に予約をすれば、直径26cm、重さ2kg超えの超巨大「軍艦シュークリーム」も購入することができる。



メンバー活動報告 -福島県双葉郡川内村-

福島県浜通り・阿武隈高地の高原地帯にある川内村。2011年の東日本大震災では原発事故により一時全域に避難指示が出されました。そんな川内村でいま、「ワインを核とした関連産業の育成と振興」を掲げたプロジェクトが進行しており、友人が所属する建築系の研究室がパビリオンの設計・施工を行っているという4日間だけ参加してきました。

川内村を訪問したのは竣工予定日の12日前。そろそろ組み立ても佳境で形が見え始める頃かと思いきや現場へ向かうと、そこには一面の葡萄畑が広がっていました。建物はというよりやく土地の切盛りが完了したところで、まだ木材の切り出しも終わっていないとのこと。そんな状況で、設計のスキルに乏しい私が手伝えることになったのは、切り出されたベニヤ板のやすりがけと、料理でした。

今回のプロジェクトでは、壁や床はもちろんジョイントに至るまでベニヤ板のみを使用しており、切り出される木材の量は尋常ではありません。やすってもやすっても木材の山がなくなることはなく、ついに4日間やすりがけに明け暮れることになりましたが、それでも全ての木材をやすり終えることは叶いませんでした。（そもそも切り出しが終わっていませんでしたが。）1つ1つの木材に加えられた人の手と想いが建築に温かみをもたらすことになるのでしょうか。そうでなければ報われません。

さて、設計・施工を行う1ヶ月弱のあいだプロジェクトのメンバーは村の集会所に宿泊しており、その時々で手の空いている人が食事を作っているようです。やすりがけ以外に能のない私は必然的に料理を担当することになりました。集会所には、近所の農家さんが差し入れてくださったジャガイモ・ナス・ピーマンが大量にあります。スーパーマーケットが近くにないため肉や魚は数日に1回しか供給されません。結果、食卓にはコロッケ、ポテトサラダ、ナス味噌、ナスの揚げ浸し、ピーマンのポテト詰めといった栄養にやや偏りがありそうな料理が並ぶことになりました。おかげさまでナス嫌いをだいぶ克服した気がします。

機械の不調や人員不足で苦戦を強いられているようでしたが、無事竣工できることを心から願っています。そしてワインが出荷される2年後には川内村を再訪したいと思います。

こんかいの一言▽井上：ワークショップ向けのキットをたくさん作りたい気分です。▽櫻本：大学院も秋学期に突入しました。気持ちを切り替えて頑張っていきます！▽木村：サザエさんにベンチャー企業を立ち上げたおばあちゃんが登場していました。時代ですね。▽原：月末に締め切りをいくつもの設定するのは間違いですね。▽秋月：今年も地味ハロウィンの季節ですね▽時丸：秋は栗、かぼちゃ、さつまいもと誘惑が多いです。▽植田：台風で暇だったので作り置きをしていました。▽久保田：自然災害が続く中、防災まちづくりへの問題意識を強く抱く日々です